

2024年3月26日

令和5年度 名古屋市地域公共交通協議会 【千種mobi状況報告】

名鉄タクシーホールディングス株式会社
株式会社あんしんネットなごや
Community Mobility株式会社

1. 実証期間の運行実績・振り返り

【運行実績報告】（21年12月～24年2月29日時点）

- （1）実証実験の内容
- （2）実証実験の進捗共有
- （3）アンケート調査結果

2. 高齢者への活用施策について

- （1）高齢者向け説明会の開催
- （2）高齢者支援活動でのmobi利用（検討中）
- （3）千石コミュニティセンターでのmobi利活用（検討中）

実証期間の運行実績・振り返り

- ✓ 2021年12月から開始した、相乗り型オンデマンドサービス mobiの実証実験の報告
- ✓ 報告対象期間は、2021年12月6日から2024年2月29日まで

報告事項

1. 実証実験の内容
2. 実証実験の進捗共有
3. アンケート調査結果

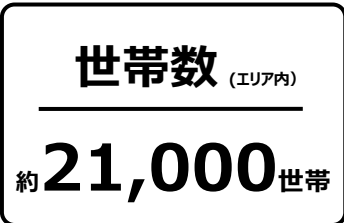
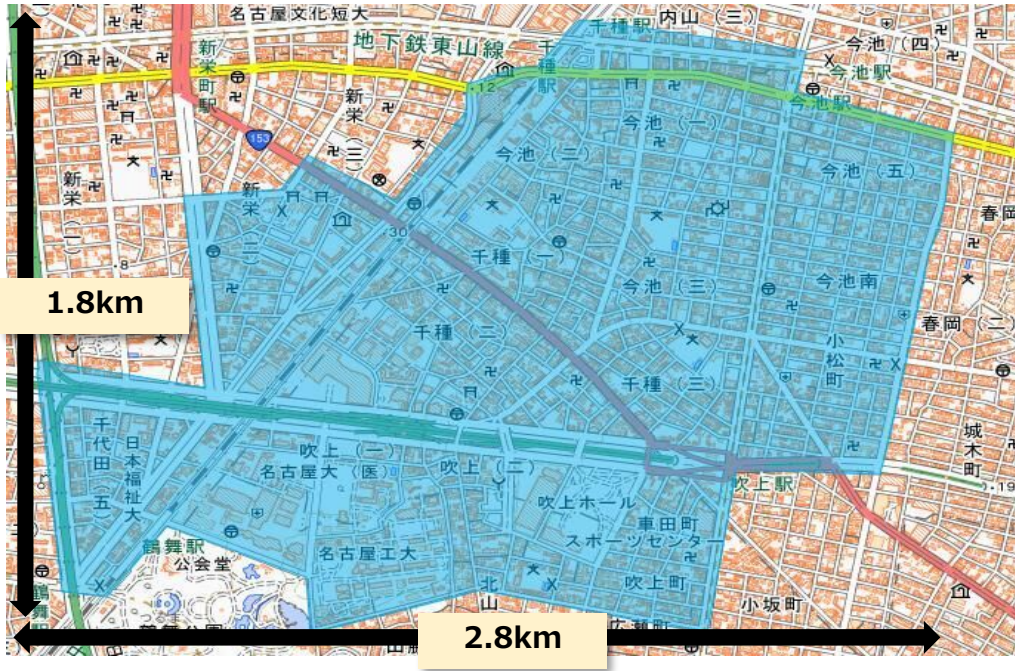
1.実証実験の内容-概要及び実験区域

■ 概要

項目	提案内容
背景 (要約)	● 2021年から実証を開始して以降、利用者は約10倍に増加するなど、千種区において「エリアオンデマンド交通」の受容性については、ある一定の検証ができたと感じている。一方で「事業の継続性」や「社会課題の解決」、「既存交通との連携」についての取り組みや検証は、地域住民の皆様、エリア内の法人の皆様、自治体をはじめとした関係各所の皆様との丁寧な協議、連携が今以上に必要と考えている。ゆえに、実証3年目については、道路運送法第21条の元、実証実験を継続していきたい。
実験期間	● 2021/12/6~2024/12/5(予定)
運行事業者	● 名鉄交通第三株式会社 / 株式会社あんしんネットなごや
運行区分	● 道路運送法21条
営業区域/ 運送区間	● 愛知県名古屋市鶴舞、千石地区周辺約1.3km×約2.8kmの運行
運行経路	● 予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 (AIオンデマンド型交通)

■ 営業区域情報

・営業区域MAP



1.実証実験の内容-実験の運行方法

■ 運用内容

項目		内容
予約	手段	● スマートフォンアプリ、又は電話
	受付時間	● スマートフォンアプリ：7時～22時 ● 電話：10時～19時
運行態様		● 営業区域内においてアプリ上で仮想乗降場所を表示し、 運行ルートは定めず自由経路で運行する方式
運行車両		● ハイース2台 ※お客様のご予約状況により変動
運行時間	時間帯	● 7時～22時
	間隔	● 15分に1便 ※1台1時間あたりに最大4便運行すると仮定

■ 運賃/支払方法

・運賃設定表 （21条申請時資料から抜粋）

運賃及び料金の種類			運賃及び料金の額
普通運賃	片道	大人	300 円
		小児	大人 普通旅客運賃の半額
		幼児	同伴者 1 名につき 2 名まで無料 3 人目から大人 普通旅客運賃の半額
運賃の割引	乗り放題パス		乗り放題パス旅客運賃表参照

乗り放題パス旅客運賃表

期間	大人・小児	家族会員
3 0 日	5 , 0 0 0 円	5 0 0 円

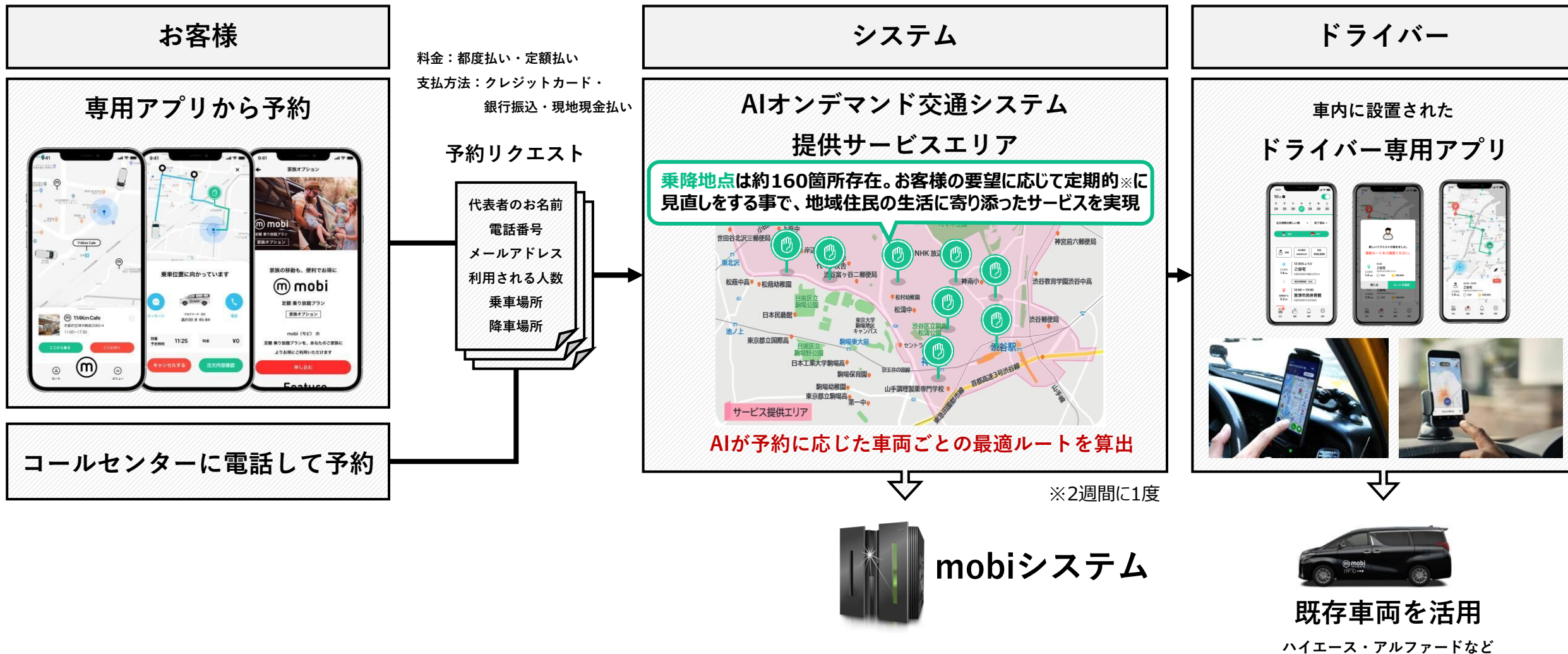
【利用条件】

- ・乗り放題パスを有する旅客は、期間内において回数制限なく利用することができる。
- ・乗り放題パスは、大人、小児同額とする。

・支払方法

項目	普通運賃	乗り放題・回数券
支払方法	・現金 ・クレジットカード	・クレジットカード ・銀行振込 ・口座振替
支払い タイミング	・降車時	・事前購入 ※アプリ又は電話で購入

徒歩・自転車・マイカーのちよい乗りに代わる、エリア定額制の新しい移動サービス
お客様の乗車要望に対して、AIでルーティングを実施。ユーザーの移動ニーズとドライバーをマッチングする仕組み



お客様が乗降地を指定して予約が成立するまで、4つのStepで完結
年代を問わず、利用が容易な設計となっている

Step1.乗降地指定



Step2.人数選択



Step3.確認画面



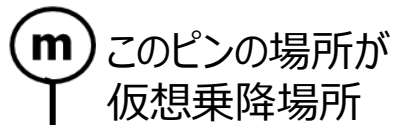
Step4.予約成立後



**mobiの乗降地点は、仮想乗降場所を設定している
特別目印となる看板や印は設けておらず、アプリ内で確認が可能**



※アプリ画面（イメージ）



このピンの場所が
仮想乗降場所



ピンをタップして
「乗降場所」を指定



予約完了後ドライバーと
チャットや電話機能で
連絡可能

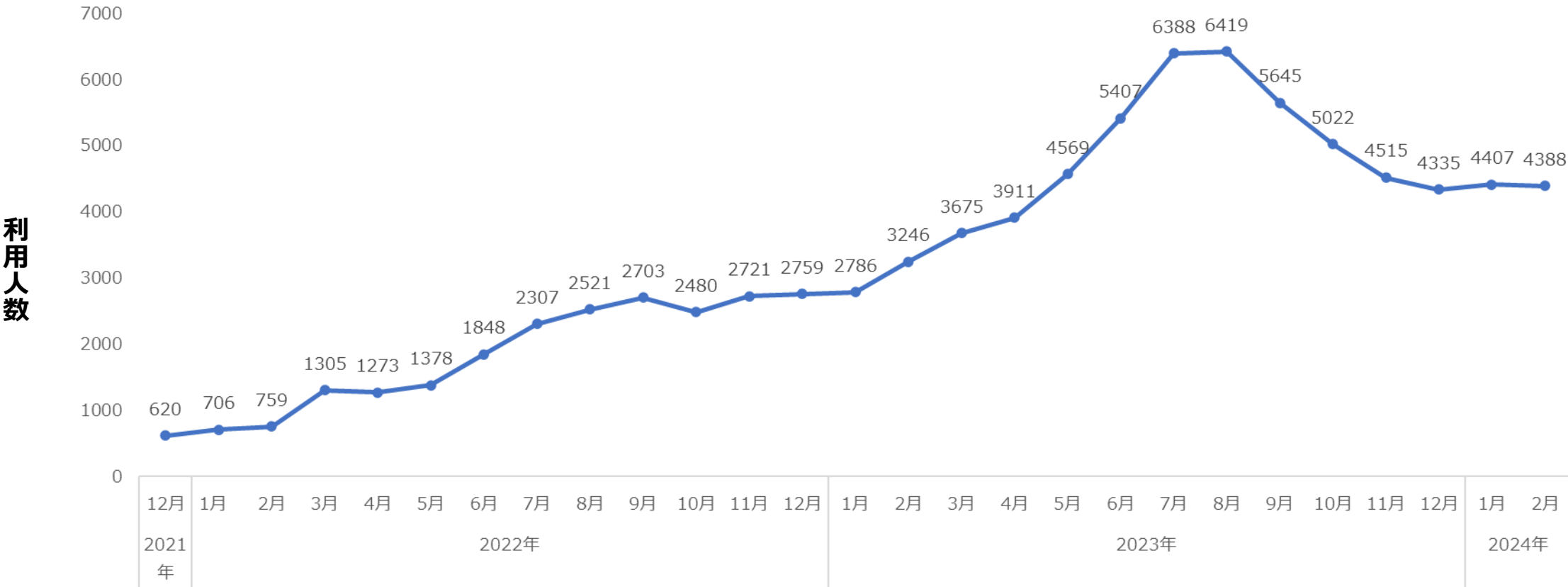
★車両の走行位置はアプリで常時確認可能。

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用人数>

※2021/12/6～2024/2/29ご利用分集計

■ 月間当たりの利用人数は8月をピークに減少傾向で、直近では4,500人前後となっている



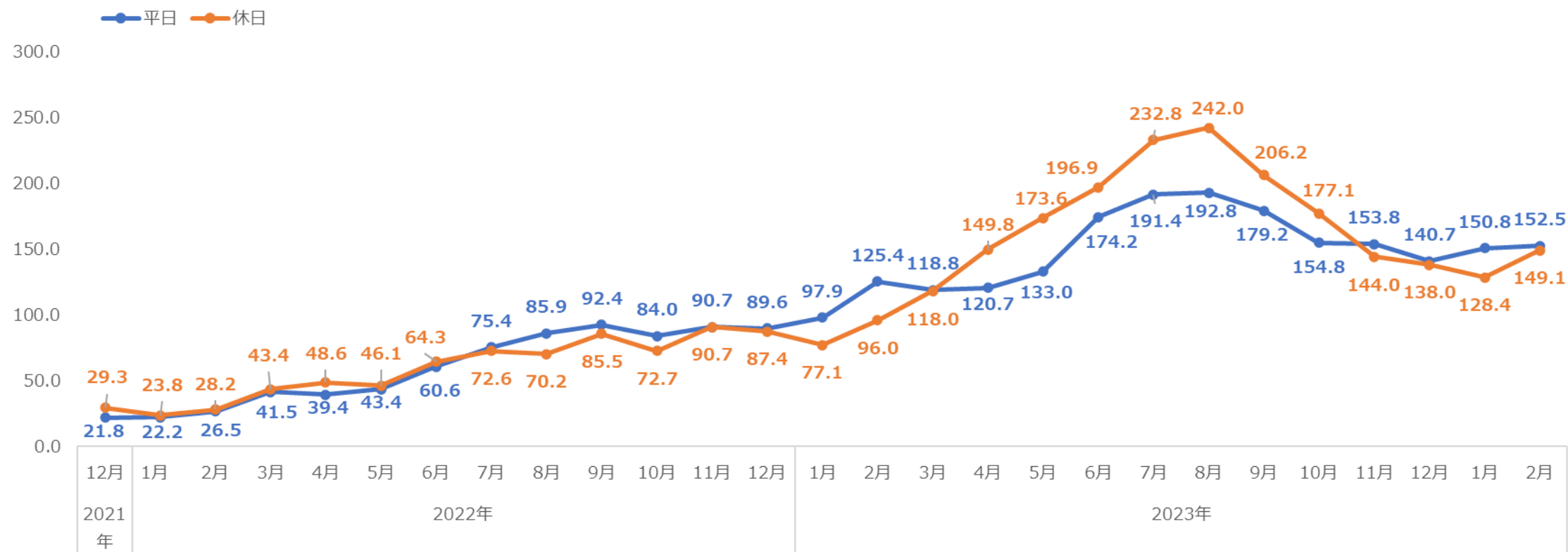
※12/6～12/31

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：休日/平日の1日あたり利用人数>

※2021/12/6~2024/2/29ご利用分集計

- 休日/平日のいずれも、利用人数8月をピークに減少傾向
- 直近では、平日と休日に大きな差はない



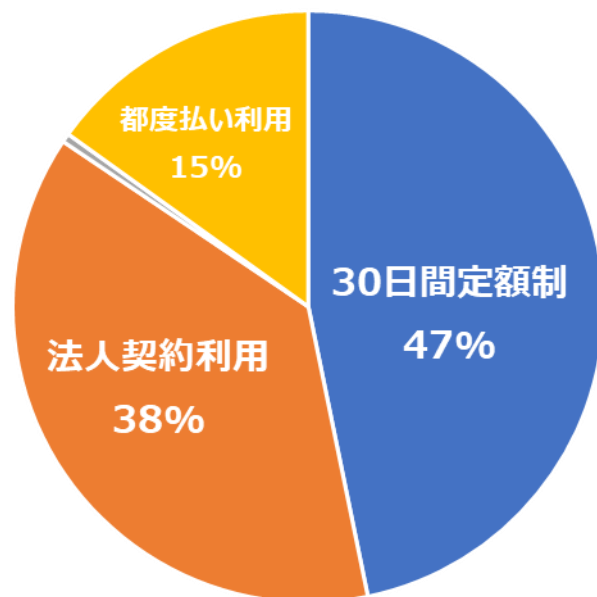
2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用種別割合/利用年齢割合>

※2021/12/6~2024/2/29ご利用分集計

- およそ半数が30日間定額制（乗り放題パス）を利用されている状況。
- 利用年齢割合は40代と50代が最も多く、20代~40代の若者・子育て世代の利用が6割以上を占めている

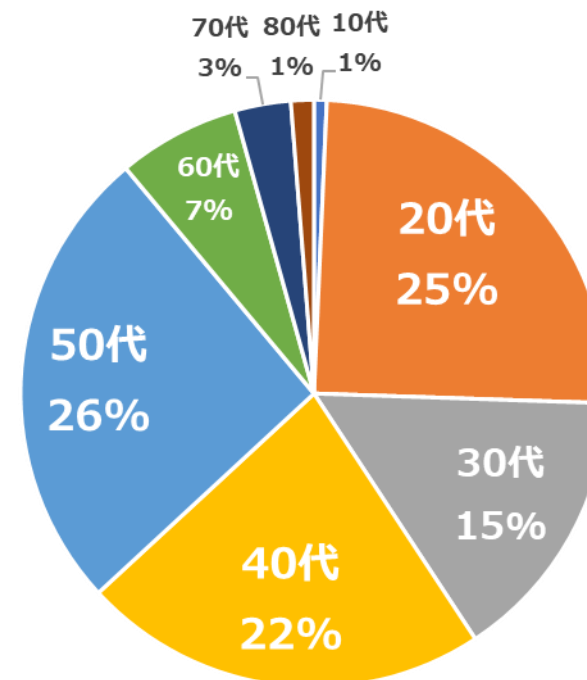
利用プラン割合



n=88,093

※30日間定額制：乗り放題パス 5,000円/月
※都度払い：普通運賃 300円/大人,150円/小児

利用年齢割合



n=32,616

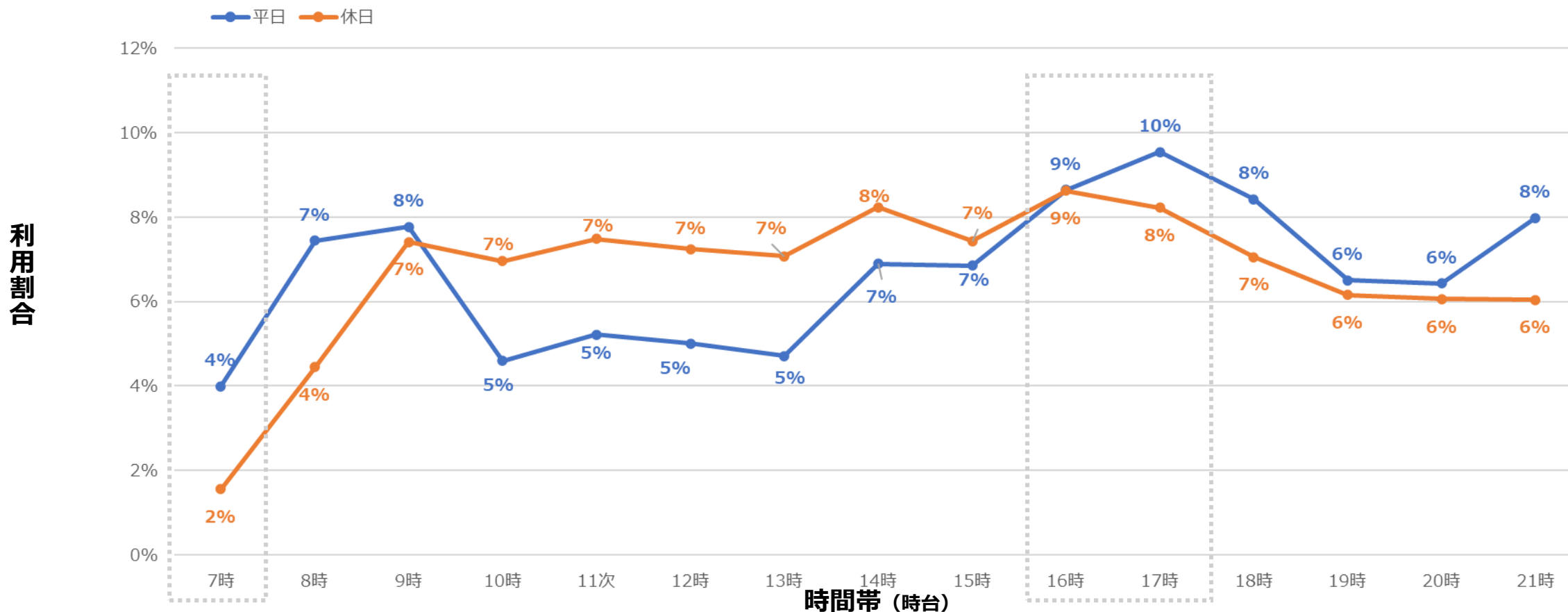
※年齢を記入した利用者数

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：時間帯別利用割合>

※2021/12/6~2024/2/29ご利用分集計

- 時間帯別の利用割合は、休日と平日で大きな差分無し
- 休日と平日のいずれも朝7時台の利用割合は低く、16時台~17時台は高い傾向



2.実証実験の進捗共有

<利用者の移動傾向> - 利用乗降場所傾向

・集計期間：2021/12/6～2024/2/29ご利用分集計

- 利用乗降場所傾向の把握を目的に、乗車/降車場所TOP10をそれぞれ可視化
- 乗車/降車場所のいずれも連携法人の浩養園がTOPであるが、駅前や小売店が人気上位にある傾向

乗車場所 - TOP10



降車場所 - TOP10



2.実証実験の進捗共有

<利用者の移動傾向> - 利用区間の傾向

2021/12/6~2024/2/29ご利用分集計

- 往来の傾向把握を目的に、利用区間回数TOP10をそれぞれ可視化
- **南北にわたる移動が多数を占める。中でも、駅周辺と提携法人の浩養園前を結ぶ区間の利用傾向が高い**

利用区間回数 - TOP10



- ① 浩養園前⇄鶴舞駅
- ② 浩養園前⇄千種駅前
- ③ メガロス千種⇄千種駅前
- ④ メガロス千種⇄鶴舞駅
- ⑤ イオン千種店⇄鶴舞駅
- ⑥ 千種タワーヒルズ前⇄千種駅前
- ⑦ 春岡1丁目交差点⇄千種駅前
- ⑧ たきざわ家具店前⇄今池腎クリニック・ハートフルタウン今池
- ⑨ イオン千種店⇄千種区千種2丁目10
- ⑩ 千種タワーヒルズ前⇄鶴舞駅

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用者の移動状況（路線バスとの比較）>

・集計期間：2021/12/6～2024/2/29ご利用分集計

- 東西にわたるバス路線に対し、mobiは南北の移動が多い傾向が見られる
- バス路線の系統とは異なる経路での利用が多く見られる

路線バスとmobi利用者の利用区間MAP

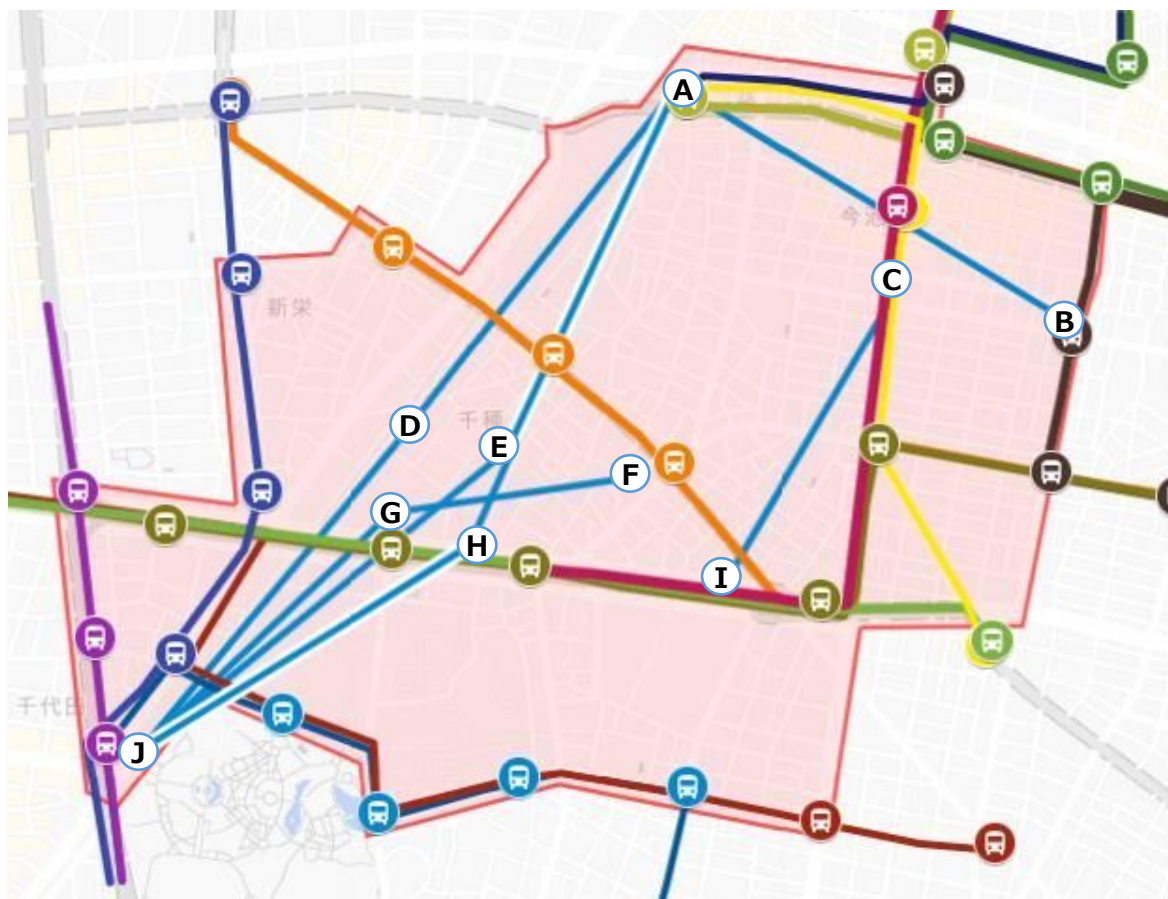
移動先の周辺施設

<凡例>

— mobi-往来回数TOP10

- 名古屋市営バス-栄18
- 名古屋市営バス-栄16
- 名古屋市営バス-千種巡回
- 名古屋市営バス-名駅17
- 名古屋市営バス-昭和巡回
- 名古屋市営バス-栄17
- 名古屋市営バス-千種13
- 名古屋市営バス-吹上11
- 名古屋市営バス-池下11
- 名古屋市営バス-鶴舞1
- 名古屋市営バス-八事12
- 名古屋市営バス-黒川12
- 名古屋市営バス-千種11

※深夜1系統はmobi運行時間外のため割愛
※栄20、栄26、基幹1系統はmobiエリア内は黒川12と同経路のため割愛



- A 千種駅前**
・教育施設：河合塾/守衛予備校 /浜学園千種教室
- B 春岡1丁目交差点**
・介護施設：ハピネスらいおん
・教育施設：春岡小学校
- C 今池腎クリニック・ハートフルタウン今池**
・老人ホーム：ハートフルタウン今池
・病院：今池腎クリニック
- D メガロス千種**
・娯楽施設：メガロス千種
・商業施設：イオン千種店
- E 千種タワーヒルズ前**
・病院：にいのみデンタルクリニック
・住宅地
- F 千種区千種2丁目10**
・住宅地
- G イオン千種店**
・病院：吹上デンタルクリニック
・教育施設：名古屋工業大学/
名古屋市立千早小学校

- H 浩養園前**
・飲食店：浩養園
・教育施設：名古屋工業大学
・病院：吹上デンタルクリニック
・小売店：イオンタウン千種
- I たきざわ家具店前**
・公共施設：吹上ホール
・公園：吹上公園
- J 鶴舞駅**
・公共施設：中央図書館/公会堂
・教育施設：日本福祉大学
/青焰美術研究所
・病院：横山記念病院

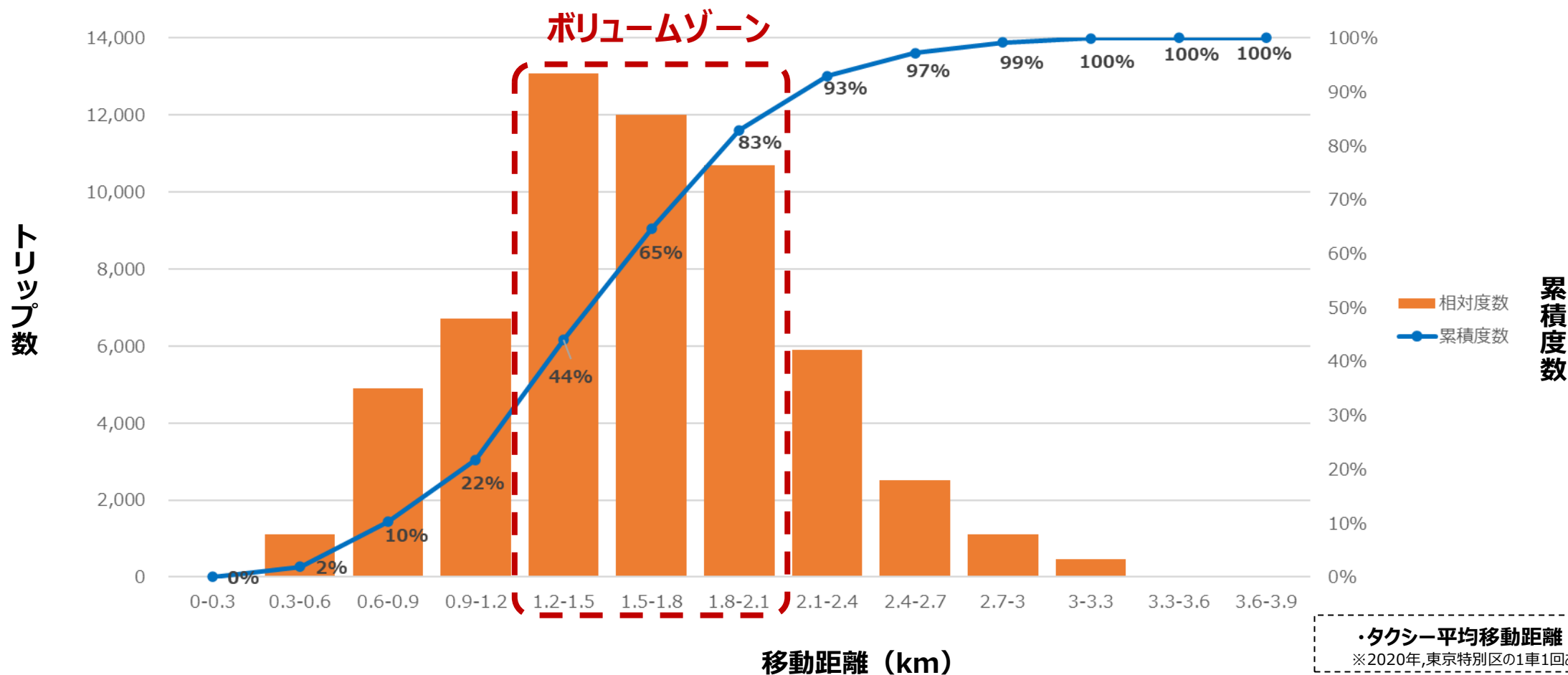
K

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用者の移動状況（1台当たりの1回の移動距離）>

※2021/12/6～2024/2/29ご利用分集計

- 近距離（1.0～2.2km）の移動がボリュームゾーンとなっている
- 1.5km未満までの移動で約45%、**2.1km未満までの移動で約80%**を占めている



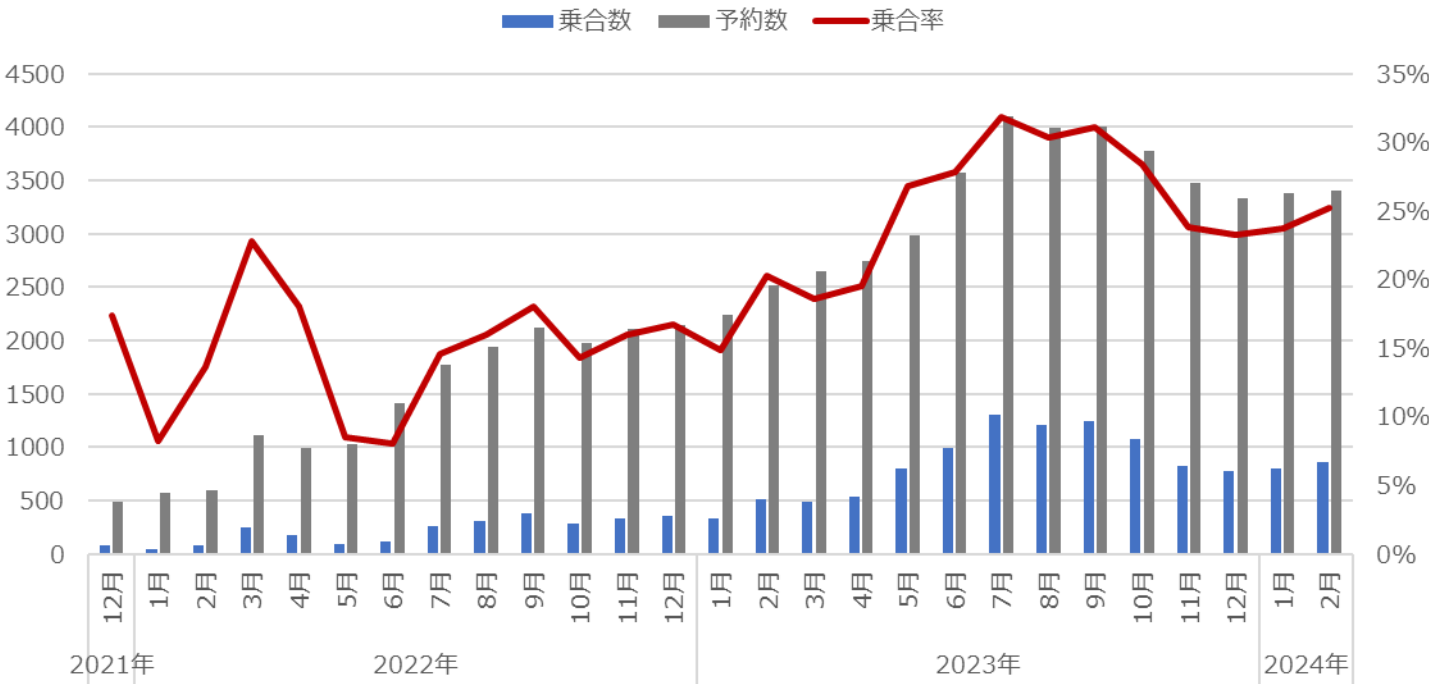
2.実証実験の進捗共有

<運行実績：乗合率>

・2022/4/1～2024/2/29ご利用分集計

- サービス開始から乗合率は増加傾向
 - 2月を時間帯別で見ると、18時台の乗合率が一番高く、39%である
- 乗合率向上のために、現状の打ち手としては、システム側の精度向上・乗降地の設置場所の見直し等。

千種区乗合率



・乗合率 = 乗合数 ÷ 予約数
乗合数 = 全利用者の乗車回数のうち、乗合となった回数
予約数 = 全利用者の予約数

▼2月時間帯別

	乗合数	予約数	乗合率
7時台	16	161	10%
8時台	25	183	14%
9時台	62	258	24%
10時台	46	209	22%
11時台	53	258	21%
12時台	64	223	29%
13時台	60	206	29%
14時台	61	248	25%
15時台	61	237	26%
16時台	62	259	24%
17時台	89	254	35%
18時台	104	264	39%
19時台	37	213	17%
20時台	74	227	33%
21時台	46	206	22%
22時台	0	1	0%

3.アンケート調査結果

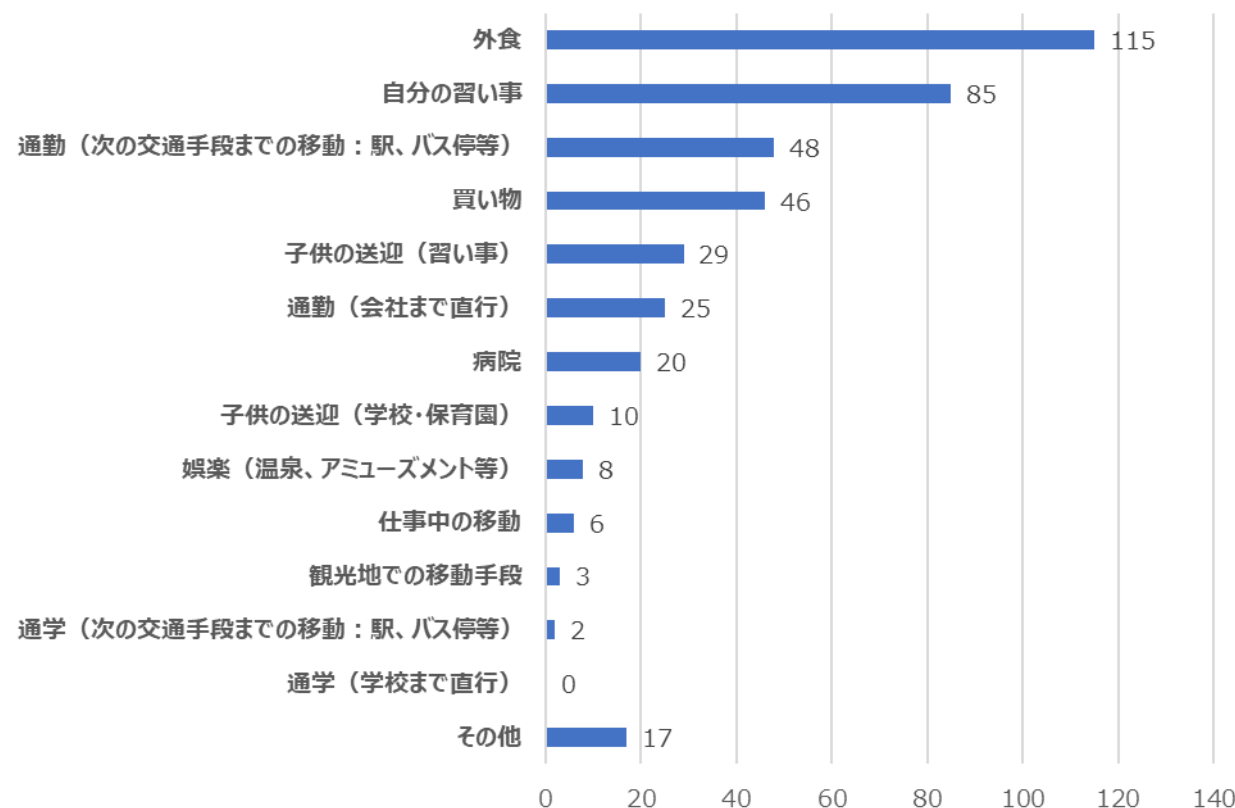
<mobi利用者へのアンケート調査> - mobiの利用目的

※2023年4月～2024年1月ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- 利用目的として「外食」と答えたお客様が最多数、次いで「買い物」の回答が多い。
- 自分や子供の習い事や通勤時のご利用も多く、習慣的な移動にmobiを利用されている。

Q. 前月中、mobiをご利用された目的として当てはまるものを全てお選びください。

※複数回答可



総回答数=414

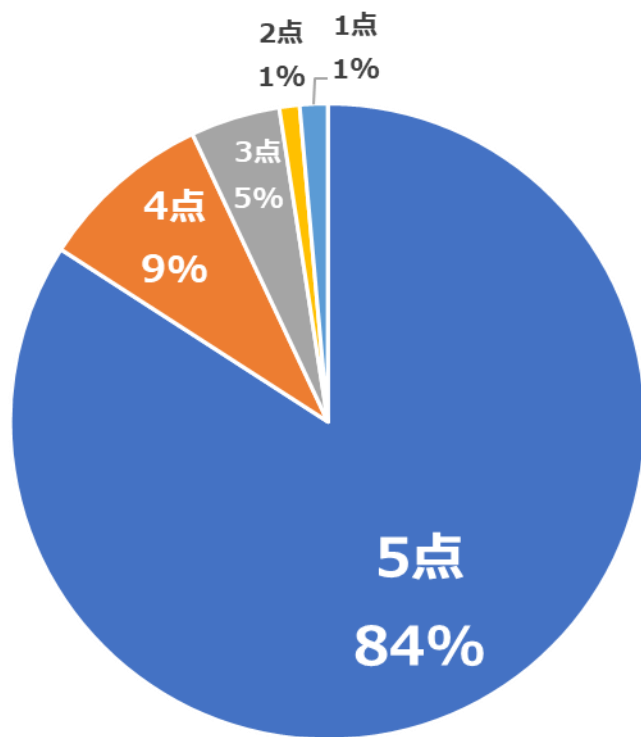
3.アンケート調査結果

<mobi利用者へのアンケート調査> - 乗車体験評価

※2021年12月～2024年2月29日ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- mobiの乗車体験評価は5点満点の割合が一番高く、**全体の84%が5点満点回答**
- 利便性やドライバーの対応への高評価が見受けられる

Q. 今回の乗車体験を5点満点で回答してください



回答総数=11,535

【お客様の声抜粋】

■ 5点満点回答者の声

- ・いつもこどもに優しく声かけてしてもらえたり気遣ってもらえてありがたいです。
- ・配車予定時間がこまめにアップされるようになって、**かなり使いやすくなりました。**
- ・初めて利用しましたが良かったです。また宜しくお願いします。
- ・雨の日に利用しました。
マッチングしてからの待ち時間がとても短くありがたかったです。
- ・**今後も続けていただけると助かります**
- ・**暑い中、すごく快適に目的地にお送りくださり**、ありがとうございます。
- ・夜で子どもが居たので融通利かせて頂いてとても助かりました。
ありがとうございました！

■ その他回答者の声

- ・室内温度が合わない ・車内の臭いが気になりました
- ・少しスピードが速くて怖くなりました。
- ・待ち時間が長すぎる 30分でした。
- ・予約の仕方が分かりにくいです。もう少し便利に使えると良いと思います。

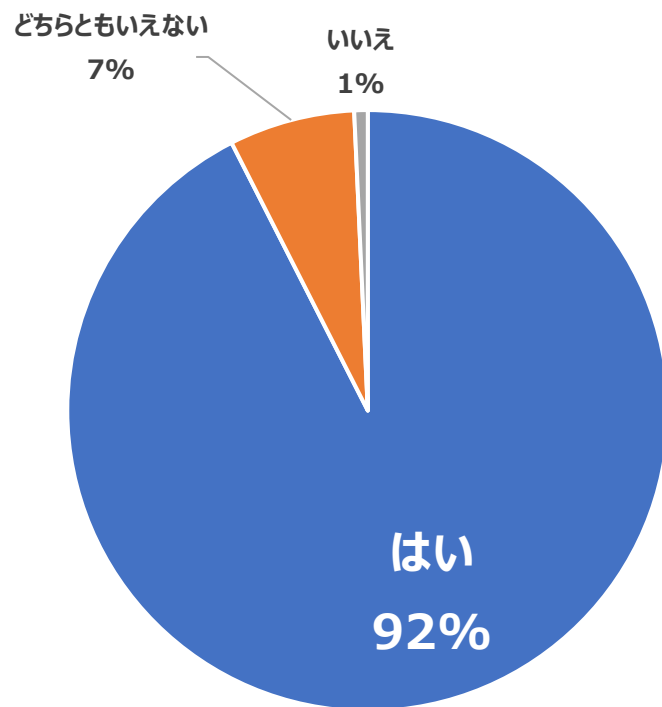
3.アンケート調査結果

<アンケート結果> mobi利用者へのアンケート調査 - 千種エリアにおけるmobiの必要性

※2023年4月～2024年1月ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- mobi利用者の92%が、千種エリアにおけるオンデマンド交通に対し必要性を感じていると回答
- 運行範囲の拡大や近距離移動の利便性向上のお声や、エリア範囲や料金、アプリの使い勝手に対するお声を頂戴

Q. 今後もこのエリアの交通手段としてmobiが必要だと感じますか。



総回答数=414

<お客様の声抜粋>

- ・**エリアの範囲をもう少し広げて欲しい**
- ・朝 通勤で利用するので、**台数を増やしてほしいです。**
- ・**自家用車の購入の必要性がなくなり経済的**
- ・**車を出す手間と時間を節約できた**
- ・実家の近くで**こういうサービスがあれば良いと思う**
- ・**生活に必要なサービスになった**
- ・**このサービスを続けて欲しい**
- ・ドライバーの対応に差がある
- ・よほど時間に余裕がないと使えないと感じた
- ・便利ではあるが、**乗り放題の料金が高い**
- ・待ち時間をもう少し正確にしてほしい
- ・乗り場の案内板があっても良い

高齢者への活用施策について

Community Mobility株式会社

1.高齢者向け説明会の開催

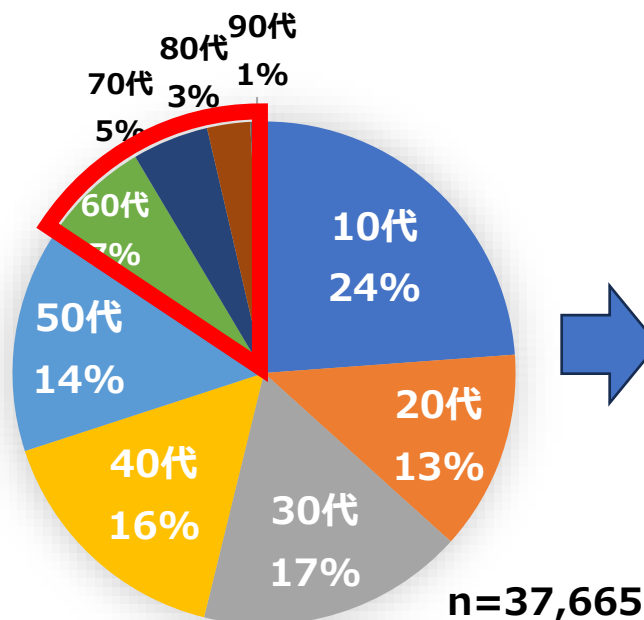
○高齢者向けの「mobi説明会」の開催

千石コミュニティセンターにて、コミセンにお集まりの高齢者の方向けに「mobi説明会」を開催。
他エリアでの事例も含め、高齢者の方のmobi利用については、このように説明会という形で、複数回開催し、1on1のコミュニケーションを重ねることで利用に繋がる傾向がある。今後も運行エリアのコミセンを中心に、高齢者向けの説明会を実施予定

説明会の様子

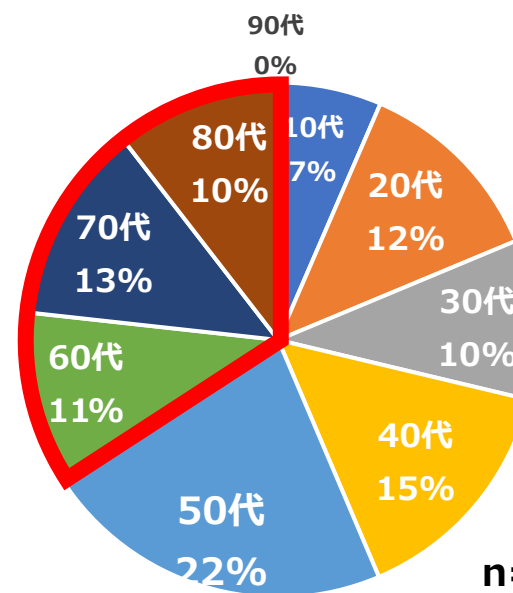


【mobi全エリア】利用年齢割合



高齢者割合16%

【東大阪エリア】利用年齢割合



高齢者割合34%

東大阪エリアでは、運行開始以降、計23回の高齢者説明会を行ったことで高齢者の方の利用が増大した
※運行開始2023年8月

2.高齢者支援活動でのmobi利用（検討中）

【地元の方からのアイデア①】

3月より、千石学区で実施している高齢者支援活動「支えあい・たすけ隊」の周知をmobiリソース（車内にて案内popの掲示・アプリ配信等）を活用し実施。高齢者に対し、このような支援活動の認知を向上させていくとともに、今後は、買い物や通院支援等の移動が伴う支援に対し、mobiを活用できないか検討。

mobiの媒体を活用した施策の認知度向上



千石 地域
「支えあい・たすけ隊」
ユウカーズ

生活上の“ちょっとしたこまりごと”をご近所ボランティアさんのお手伝い解決する取り組みを学区で行っています。

日常の“ちょっとした困りごと”をお手伝いします！

例えば…

- スマホ操作
- 電線交換
- お話し相手

その他、ちょっとした困りごと、お聞かせください！！

＊利用料は原則無料ですが、材料費等別途必要になる場合があります。
＊即日対応はできませんので、ご了承ください。
＊ご依頼の内容によってはお断り受けてできない場合もあります。

千石 地域「支えあい・たすけ隊」相談窓口
千石コミュニティセンター 毎週 火・金曜 AM9時～12時
☎ 080-4770-4003

『支えあい・たすけ隊』ボランティアさんも大募集しています！
千石学区でちょっとした困りごとをお手伝いいただける方を募集しています。
「できる時間」に「できる範囲」でお手伝いいただけませんか。
ぜひ地域のためにあなたのお力を貸してください！！
お問い合わせは、上記連絡先までお知らせください！！

千石学区地域福祉推進協議会

施策の推進に向けてmobi活用の検討



高齢者の方
【買い物・通院支援】

民生委員等支援を
実施するの方
【移動手段の確保】

3.千石コミュニティセンターでのmobi利活用（検討中）

【地元の方からのアイデア②】

千石コミュニティセンターでは、高齢者サロン等、毎日高齢者向けのイベントを企画・運営しており、千石学区の高齢者の方のコミュニティを形成する場として貴重な環境となっている。一方で、昨今はコミュニティセンターに行くこと自体、難しいと感じる高齢者の方も増えており、家族送迎等で補完はしているものの、そのような援助を受けられないと足を運ぶことを断念されている方もいる。「コミセンへの移動手段の確保」という課題の解決に向けて、すべての高齢者の方が千石コミュニティセンターへの移動にmobiを活用できるような仕組みを学区の委員、区の担当者の方も含め、現在検討を行っている。

千石コミセン



mobi



高齢者の方々



**mobiがコミセンまでの移動手段を確保
高齢者を中心としたコミュニティの形成・継続に寄与**



千石コミュニティセンターの掲示版には、様々なイベント・サロン・コミュニティ活動のポスターが掲示されている

Community Mobility Philosophy

人とひと、人とまちをつなぐ



安心して環境にやさしいモビリティサービスの提供を通じ、
みなさまと共に健康的でワクワクする毎日の暮らしを創ります。

千石コミセンに集まる高齢者



習い事

イベント
参加

友人との
交流

人が集まると企画・施策が増える。
結果、地域活性・経済活性に繋がる

**mobiは単なる移動手段の一つではなく、移動したその先に広がるコミュニティの形成、
千種エリアに住む住民の皆様の「生きがい」を創出することを目指しています。**